

認知症に関する活動計画（概要）

青森県作業療法士会では、今年度は下記2点を中心に活動を計画した。

- ①地域で活躍できる作業療法士の人材育成
- ②認知症作業療法の普及啓発

人材育成においては、研修会を継続し会員との情報交換会を通して、地域作業療法に興味関心を持てるような働きかけをしていく。また、市町村や地域包括支援センター、地域住民に対して認知症作業療法を啓発し、認知症カフェや地域ケア会議など依頼が増えるように働きかけていく。

世界アルツハイマー・デーでのイベントの企画

8月24日に認知症の人と家族の会と協力して、街宣活動を実施する予定となっている。自治体と協力し、オレンジライトアップ事業に参画する予定となっている。



認知症の人と家族の会との連携事業

県内4ヵ所の認知症フォーラムの企画・運営に参画している。各フォーラムにおいて、作業療法士会のポスターを掲示し、認知症作業療法の普及啓発にもつながっている。また今年度も専門職としての立場で『つどい』に参画している。その中で人材育成も兼ねて同行見学も行っている。



認知症スタンプラリー事業（青森県士会独自の取り組み）

住民へ認知症への理解を深めてもらうため、また認知症の作業療法を理解してもらうために今年度も開催している。認知症作業療法普及啓発のため、協力いただいた専門団体に作業療法の特色を説明している。

認知症カフェ事業（青森県士会初の委託事業）

これまでの活動が実り、自治体から認知症カフェ事業委託の相談があり受託する。カフェの目的を踏まえつつ作業療法士のエッセンスを加えながら開催している。

